経済産業省

# 書店活性化プランの進捗

2026年10月

経済産業省　商務・サービスグループ

# なぜ、いま、書店振興か

## 1．書店は「文化創造基盤」

**本** ＝ 過去から学び、多様な思考に触れて、
自らの経験として蓄積することで、
創造性や独創性を育むことが可能

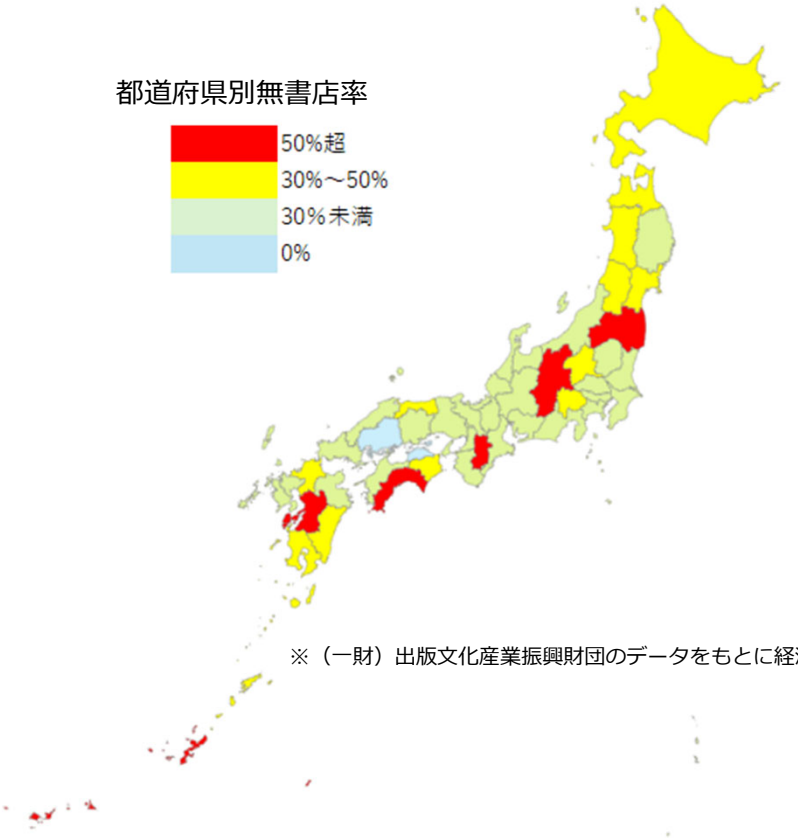
**※アニメや映画などの多くはマンガ・書籍から**
**＝　コンテンツの「源泉」**

**書店** ＝ 様々な**本**に出会える「一覧性」

→ **文化の発信拠点／創造性が生まれる文化創造基盤**。
多様な考え方を維持し、国力にも影響を与えうる、
きわめて重要な社会の資産

## 2．無書店自治体は増加が続き、いまや約３割

→　都道府県別にみると、無書店率が50%を超える県も。




※（一財）出版文化産業振興財団のデータをもとに経済産業省にて作成

# 政府における「書店振興」

**「経済財政運営と改革の基本方針2026」（いわゆる「骨太の方針」）への「書店」の記載**

（一部抜粋）
「（文化芸術・スポーツの振興）
　文化・スポーツが持つ力を、経済活性化の強力な原動力とする。文化資源を活用した地域活性化や次世代継承に向け、文化財の保存・修理・高付加価値化、伝統行事・芸能、食文化等の生活文化の振興とともに、首都圏の劇場不足対応を含む舞台芸術の振興、新国立劇場を始めとするバレエ等のグローバル展開、博物館・劇場等の機能強化のほか、方言の保存・継承や**書店の活性化**等も含め、文化芸術政策を推進する。～～」

（参考）昨年度（2025年度）の「骨太の方針」
～～こどもや障害者の文化芸術鑑賞・体験機会の充実、方言の保存・継承の推進、文字・活字文化の振興や**「書店活性化プラン」の推進**、デジタルアーカイブ化に取り組む。～～

出典：経済財政運営と改革の基本方針2026　「責任ある積極財政」元年 ～日本の挑戦を起動する！

# 書店活性化プラン（令和７年６月策定、７省庁２２施策）のフォローアップ

・中小書店向け企業支援策に加え、**文科省・文化庁を中心とした読書推進・図書館連携の施策を含む取組状況**を、経産省HPで公表。

| 番号 | タイトル | 担当省庁 | 令和7年度取組 | 令和8年度取組予定（9月末時点更新） |
|---|---|---|---|---|
| Ⅰ－① | 書店の販路開拓に向けた支援 | 中小企業庁 | 「**小規模事業者持続化補助金**＜一般型＞」計142,436件採択のうち、書店の販路開拓**45件**。<br>「**中小企業新事業進出補助金**」1,950件採択のうち、**書店の販路開拓2件**。 | 書店の来客数の増加等に向けた販路開拓に資する取組について、「小規模事業者持続化補助金」、「新事業進出・ものづくり商業サービス補助金（「中小企業新事業新事業進出補助金の後継事業）」を含め、**引き続き支援を実施**。 |
| Ⅰ－② | 読書推進人材への支援 | 文部科学省 | （独）国立青少年教育振興機構の「絵本専門士養成講座」について、東京圏とは別の地域での新たな養成講座の開設に向けて、絵本専門士委員会において検討。 | **「絵本専門士養成講座」について、令和8年度から新たに大阪においても実施**。<br>また、**読書推進人材**の活躍機会の拡大や育成の強化、周知・広報に向けた**調査研究（実証研究）**を令和8年度に実施。 |
| Ⅰ－③ | 活字文化の振興 | 文化庁 | 令和7年度当初予算「文字・活字文化資源活用推進事業」において、**地域の書店や出版社、文学館、図書館、大学等関係機関が連携した展示会やイベント**への支援。 | 令和8年度おいても、文字・活字文化の発信拠点・担い手（書店、出版社など）の連携や活性化、文字・活字コンテンツの再発見、活用、親しみ、触れる機会を増やし、地域における知識基盤社会の充実を図る取組を実施。（令和8年度：7件採択）<br>人材育成のための支援を継続実施（マンガ・文芸の取組を5件採択 令和8年9月現在）。官民の連携体制強化によるマンガを含むコンテンツ文化の戦略的・総合的な発信を予定。 |
| Ⅰ－④ | 魅力的な活字文化コンテンツの創出 | 文化庁 | 大学・専門学校等と企業・関係団体等が連携し**人材育成プログラムの構築**を目指す「クリエイター等支援事業」において、**マンガに係る取組を6件採択**。 | マンガに係る人材育成の取組を引き続き実施するとともに、官民の連携体制強化によるマンガを含むコンテンツ文化の戦略的・総合的な発信を予定。 |
| Ⅰ－⑤ | 日本の活字文化の海外展開支援 | 文化庁 | 令和7年度当初予算「活字文化のグローバル展開推進事業」において、**翻訳コンクールの実施や企画書のサンプル翻訳支援**等 | ○**活字文化グローバル展開協議会及びタスクフォース**を開催し、「活字文化のグローバル展開戦略 2026」を6月25日に策定。<br>○翻訳家を発掘・育成するため、**第11回翻訳コンクール**を開催。<br>○過去の翻訳コンクール受賞者の翻訳スキルの向上や、出版社、作家、翻訳家等のネットワーク強化を目的に、ワークショップ等を実施。<br>○**外国語の企画書・サンプル翻訳の作成支援、出版社等向けのセミナーやネットワーキングイベント**等を実施。 |
| Ⅰ－⑥ | 文学館など文化施設における先進的な取組への支援 | 文化庁 | 博物館機能強化推進事業において、**絵本美術館（ちひろ美術館・東京）を中核とした取組を採択、地域で療育に関わる専門家と協働して絵本ガイド作成**、**療育を必要とする子どもに絵本配布**等、美術館や図書館の利活用を促進。 | 引き続き、文学館を含む**博物館が地域の関係機関と連携して地域的・社会的課題解決を図る仕組みづくりを支援**していく。 |
| Ⅰ－⑦ | 書店のリノベーション支援 | 国土交通省 | **まちづくりファンドから、書店等も入居可能である、複合商業施設整備への個別支援**を実施。 | 引き続き、まちづくりファンドの組成及び個別案件への支援を実施。 |
| Ⅱ－① | 読書環境整備に向けた関係機関による連携協働モデルの構築・普及 | 文部科学省 | 「図書館・学校図書館と地域の連携協働による読書のまちづくり推進事業」において、9団体を採択し、実施。 | 「図書館・学校図書館と地域の連携協働による読書のまちづくり推進事業」において、6団体を採択し、実施。２次公募において５団体を採択。 |
| Ⅱ－② | 書店と図書館における連携の推進 | 文部科学省 | 図書館の複本購入等の実態調査を実施。**図書館と書店等関係機関の連携に向けた提案や先進事例の紹介等を含む「図書館・学校図書館の運営の充実に向けた有識者会議」の報告書を公表**。 | 実態調査の結果を取りまとめて公表予定。また、各種会議や研修会の場において、実態調査の結果や有識者会議の報告書を基に、周知を図り、図書館と書店等関係機関の連携による取組を促していく予定。 |

（参考：つづき）

| 番号 | 取組 | 担当省庁 | 令和7年度取組 | 令和8年度取組予定（9月末時点更新） |
|---|---|---|---|---|
| Ⅲ－① | 返品抑制に向けた業界を巻き込んだ研究会の開催 | 経済産業省 | **全3回実施**（6/24,12/17,3/31）。データ連携（RFIDへの支援、DX化）、製造流通、小売りに関する課題とアクションに対し、書店活性化プランにて対応。 | **書店店頭で必要となるRFID関係機器の導入支援**として、「中小企業省力化投資補助金」のカタログ登録を進める。<br>書店活性化プランに基づく**中小支援施策**の周知等を引き続き実施。 |
| Ⅲ－② | 再販売価格維持契約下でのコスト上昇への対応についての業界団体への説明 | 公正取引委員会 | 書店の店舗運営コストの上昇への対応の状況について、**複数の書店や出版社からヒアリング**を実施。コスト上昇への対応案を、出版、書店、取次の業界団体に対して説明。 | 左記**説明後の取組**や**コスト上昇を踏まえた価格協議の有無、実効性**などについて、**今夏以降ヒアリング**を実施。 |
| Ⅲ－③ | 著作物の再販売価格維持制度の弾力的運用の推進 | 公正取引委員会 | 出版社、取次、書店の業界団体から、**再販契約の弾力的運用（部分再販、時限再販など）の状況についてヒアリング**を実施。 | 再販契約の弾力的運用の効果がより発揮されるよう、引き続き、業界全体での取組を促す。 |
| Ⅳ－① | 書店への RFID 機器の導入支援 | 経済産業省・中小企業庁 | 令和 6 年度補正予算「クリエイター事業者支援事業」にて**RFID導入の実証を実施**。「**中小企業省力化投資補助金」（カタログ注文型）について、ゲートのカタログ登録済み**。 | 対象機器の組合せを増やし、**製品登録が進んでいるカタログ注文型での支援を実施**。あわせて、**事業計画型の一般型での支援**を実施。 |
| Ⅳ－② | IT 導入補助金等を活用した書店の DX 支援 | 中小企業庁 | 「IT導入補助金」で**書店7件に、POSや受発注システムの導入を支援**。<br>「中小企業**省力化投資補助金」で自動精算機の導入などが可能等の施策を**、商工会・商工会議所等や金融機関向けに説明会実施。 | 「デジタル化・AI導入補助金（「IT導入補助金」の後継）」を通じて、DXの推進に資するPOSシステム、受発注システム等の導入について、引き続き支援。 |
| Ⅳ－③ | 付録付き雑誌のセット組み作業の負担緩和を出版社等に求めることに関する独占禁止法上の留意点相談対応 | 公正取引委員会 | 付録付き雑誌の**セット組み作業の負担等の現状について、複数の書店、出版社等から聞き取り**。 | 付録付き雑誌のセット組み作業の実態について、**引き続き、書店、出版社等からのヒアリング**を行っていく。<br>付録付き雑誌のセット組み作業に関し、書店等から独占禁止法の観点からの相談があれば、丁寧かつ適切に対応していく。 |
| Ⅴ－① | 書店を活用した地方創生の取組への支援 | 地域未来戦略本部事務局 | 地域の書店を含む商店街や中心市街地の活性化の取組を含め、地域未来戦略の推進に資する**地域の独自の取組を支援**。 | 地場産業の付加価値向上などの地方公共団体の地域独自の取組を、引き続き支援。 |
| Ⅴ－② | 書店経営者チャレンジ支援、支援施策活用ガイド周知 | 経済産業省・中小企業庁 | 「書店経営者向け支援施策活用ガイド」を更新、「ミラサポplus」で掲載周知。日本書店商業組合連合会に対して理事会での説明。 | 引き続き支援策の情報等を中小企業庁ホームページ・中小企業庁Xで発信。<br>また「ミラサポplus」で補助金関連情報を掲載、会員宛メール発信。 |
| Ⅴ－③ | 書店の新規出店に向けた支援 | 経済産業省・中小企業庁 | 同ガイドに公庫や保証協会の施策掲載。**日本小売業協会(6/24)、日本ｼｮｯﾋﾟﾝｸﾞｾﾝﾀｰ協会(8/5)に書店入店に関する働きかけ**。 | 「書店経営者向け支援施策活用ガイド」を2026年7月に更新し公表。引き続き情報を掲載し、施策の情報提供及び活用促進を実施する。 |
| Ⅴ－④ | 既存の書店の事業承継に向けた支援 | 中小企業庁 | 「**事業承継・M＆A補助金」における書店の件数7件**。 | 引き続きR7年度補正予算「事業承継・M&A補助金」にて支援を実施。 |
| Ⅴ－⑤ | 中小企業等経営強化法の書店への適用に向けた事業分野別指針の整備 | 経済産業省・中小企業庁 | 業界団体（日本書店商業組合連合会）への**ヒアリングを実施したところ、本件活用ニーズがないとのことから指針の追加は行わない**。 | 業界団体から特段の求めがないことから、書店向けの事業分野別指針について、小売業の指針と別に定めることはしない。 |
| Ⅴ－⑥ | 業界団体を活用した低廉な決済手数料率の周知 | 経済産業省 | **日書連理事会等**で低手数料、短入金サイクルのプラン、低融資制度について周知。メディア2社（文化通信社、新文化通信社）での記事掲載。 | 市場の手数料の状況を注視し、より低手数料のプランが出た場合には**日本書店商業組合連合会を通じた周知**を行う。**書店を含む中小企業向けの低手数料プランの条件について、各関係者の置かれている状況も踏まえながら見直しに向けた議論**を進める。 |
| Ⅴ－⑦ | キャッシュレス決済の導入に向けた環境整備 | 経済産業省 | **日書連理事会等**で低手数料、短入金サイクルのプラン、低融資制度について周知。 | 市場の入金サイクルについて注視し、**より短い入金サイクルのプランが出た場合には日本書店商業組合連合会を通じた周知**を行う。 |

# 令和7年度の取組①返品削減研究会の開催（令和８年３月とりまとめ）

## 趣旨・委員

「書店振興プロジェクトチーム」において書店、出版社等の意見を基に整理した、「関係者から指摘された書店活性化のための課題」では、「出版物の刊行点数の多さ」と「返品率の高さ」が指摘された。**返品は業界全体のコスト負担となっていることから、返品削減に向けた方策を検討し、業界内での認識共有を図る**研究会を3回開催した。

委員構成：出版社６社、取次２社、印刷２社、書店５社

座長：沼上 幹 教授（早稲田大学 ビジネス・ファイナンス研究センター研究院）

オブザーバー：業界５団体、公正取引委員会、文化庁

## 現状と課題、各社の取組と方向性

①データ連携

- **精緻なデータの取得のためRFIDの導入**が一部の出版社と書店で進んでおり、**実証を通じて定量的に効果**を確認。
- **導入拡大には機器導入等コスト面で課題。**官民連携で取り組む必要。

②製造・流通

- 適時適量生産のため、**デジタル印刷を活用した小ロット印刷**が行われている。拡大に向けた具体検討を業界にて進めている。

③小売り（書店）

- 出版社と書店で直取引や直送など、**書店起点の発注に基づく製造**が行われていたり、**書店間で在庫情報を共有し、共同販売、協力発注などの取組を行うなど、返品削減に向けた書店独自の工夫**がみられる。
- 引き続き書店独自の工夫を続けながらも、**データ連携等はサプライチェーンを横断し取り組んで行く**必要がある。

## 今後の官民の具体的取組

**以下の整理に基づき官民で取組を推進（官については書店活性化プランに帰結）**
産業の中期課題については業界と継続検討する。
※書店活性化プランについては3月末時点の取組をフォローアップ。

民の取組

・研究会にて紹介のあった返品削減等の取組（RFIDの導入拡大とデータ活用、デジタル印刷の活用拡大、書店独自の取組等）の拡大

⇒**2026年1月20日に日本出版取次協会、電子出版制作・流通協議会にて「出版業界でのデジタル印刷活用を推進する共同宣言」が発出されるなど、業界にて推進の動きあり。**

官の取組

・RFID導入支援（**中小企業省力化投資補助金(カタログ注文型)のRFID機器登録**）
⇒**R7年度にRFID機器が対象化。対象機器の組合せを増やし、引き続き導入拡大支援（書店活性化プランⅣ-①）**
・RFID導入効果実証事業結果の活用普及
⇒**METIジャーナル等周知、地方書店への普及方法を検討（書店活性化プランⅣ-①、Ⅴ-②）**
・その他書店で活用できる中小企業支援策の周知
⇒**支援施策ガイドの周知、METIジャーナル記事掲載等継続周知（書店活性化プランⅣ-①、Ⅴ-②）**

官民で解決していく中期課題

・サプライチェーン全体での**RFID導入拡大（特に中小出版社のRFID貼付単価**に課題）
・サプライチェーン全体での**トラック適正化２法対応**
・**キャッシュレス決済の手数料**に関する課題への取組

# 令和７年度の取組②RFID導入拡大の実証結果

- **書店におけるRFIDの導入効果実証**を、令和6年度補正予算にて支援（全国19書店にてPubteX社が実施）

⇒**①在庫管理：棚卸工数は平均92.8%の削減**、
**②売場改善：全書店が「売場づくりや商品配置の改善に役立つ」**と事後アンケートにて回答、
**③防犯対策：盗難被害数平均78%削減**などの効果が報告された。

## 概要

### 導入機器

卓上リーダー

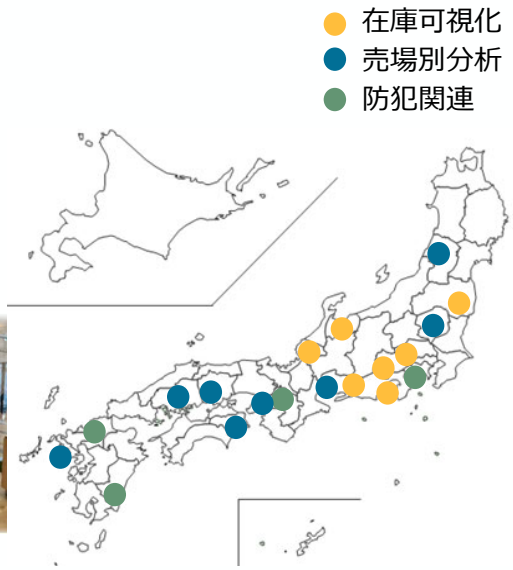
BOOKTRAIL
（在庫管理システム）

読取用ハンディ端末

ゲート

### 導入店舗

✓ 全国**19書店**で実証。




## 実証結果

| | |
|---|---|
| 検証テーマ①<br>**在庫可視化** | ・**棚卸工数**　➡**平均92.8%削減**<br>・**在庫管理データ**の精度<br>➡書店の運用に伴う課題を確認 |
| 検証テーマ②<br>**売場別分析** | ・**売場・棚毎の販売力**<br>➡全書店が**「売場づくりや商品配置の改善に役立つ」**とアンケート回答 |
| 検証テーマ③<br>**防犯関連** | ・**盗難被害数**　➡**平均78%削減**<br>・**盗難発生後の対応工数**　➡**98%削減** |

# 令和８年度の取組　自治体と協働した書店振興企画の実施

- **「本のまち」を標榜して「書店振興」に取組む大阪府高槻市と協働**し、**プロ野球選手の選書と企画参加書店の書店員の選書を行い、書店でのフェア企画を実施。**
- 具体的には、参加書店でフェア**対象本を購入した者**に、**対象となるプロ野球の試合会場**において、選手のサインなどが当選する抽選会に参加する権利を付与する仕組みを構築。高槻市が**市内参加書店を公募**したところ、**５書店**が参加。
- 書店からの好評を受け、**今年年末にプロサッカーチーム版で同企画を実施予定**。

## 書店の様子

## WEBメディアで取り上げ

YAHOO! JAPAN ニュース　IDでもっと便利に新規取得　ログイン　【おトク】10%OFFクーポンあります

キーワードを入力

トップ　速報　ライブ　エキスパート　オリジナル　みんなの意見　ランキング

主要　国内　国際　経済　エンタメ　スポーツ　IT　科学　ライフ　地域

【Buffaloes Inside】「本を買って野球場に行こう！」オリックスが、高槻市で開催の2軍戦で書店振興に一役

7/5(日) 7:00 配信　1　BASEBALLKING



書店に並んだ野球関連本と、宗佑磨が薦める「宇宙人のいる教室」（経済産業省文化創造産業課提供）

オリックスが7月11、12日に大阪府高槻市で開催するファーム公式戦の阪神戦（萩谷球場）を、同市と市内の書店と協力し「書店振興企画」として開催する。

「『プロスポーツ×書店』本を買って野球場に行こう！」と名付けられたイベントは、同市観光シティセールス課でオリックスの2軍戦を担当していた宮井克滉さんが、経済産業省の商務・サービスグループ 文化創造産業課に出向したことがきっかけ。同省では、書店の減少を食い止めようと文科省などと連携し、「書店活性化プラン」を策定しており、宮井さんがオリックス2軍戦とのコラボを思い立った。

イベントには5書店が参加。宗佑磨内野手が推薦した「宇宙人のいる教室」（さとう まきこ 作、勝川克志 絵、金の星社）と「オリックス・バファローズを楽しむ本」（京阪神エルマガジン社）の2冊の共通本以外は、各書店がテーマを絞り選定。7月11日までの購

## 実証成果

「企画実施期間前」と「実施期間中」の販売冊数比

| | 実施期間前 | 実施期間中 |
|---|---|---|
| 企画対象本 | １３冊 | **９０冊** |
| 選手選書 | ０冊 | **２８冊** |

企画を通して、企画対象本の販売冊数は**約７倍**に。選手の選書に限ると、**１冊も売れていなかった本が２８冊**売れた。

# 今後：「書店経営者向け支援施策活用ガイド」の普及とＲＦＩＤ導入の拡大

## 『書店経営者向け支援施策活用ガイド』の更新

➢ 書店経営者向け支援施策活用ガイド

・２０２４年１０月に初版を公表。

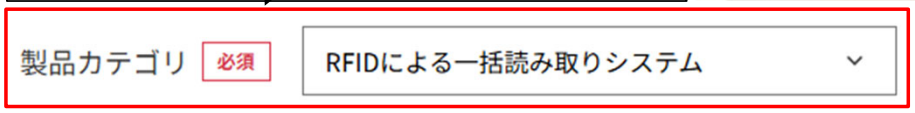
・書店活性化プランの公表にあわせて、更新版（第２版）を公表。

・**施策の進捗にあわせて、２０２６年７月に更新版（第３版）を公表**。

➢ ＲＦＩＤ導入支援を念頭に

**「中小企業省力化投資補助金（カタログ注文型）」のページを追加**

## 「中小企業省力化投資補助金（カタログ注文型）」ＨＰ掲載画面




## 「RFIDによる一括読み取りシステム」最小パッケージ導入時

«設備の内容»

ゲート（２通路３本）【補助対象経費】＋システム導入等【補助対象外経費】

«書店の負担»

（補助金なし）約80万円　＋　約54万円　＝　約134万円

**（補助金活用）約40万円　＋　約54万円　＝　約 94万円**

**【半額補助】**

※別途、毎年の保守運用費用やシステム利用料あり